

【第一章 メダカの学校20年 堂場設立10年の歩み】

1995年 メダカの学校設立

1996年 メダカの学校新聞第1号発行

1996年 CD『メダカの歌』出版記念

CD『メダカの歌』出版記念



この詩は7年前に、メダカの学校を開校した時に作った詩です。この詩の意味を歌にしました。この時にはすでに川のメダカは絶滅しようとしていましたが、それでも精一杯群れをして、お互いに寄り添いながらこの世界にしっかりと、自分達の位置を占めていました。こうしたメダカの姿は、そのまま私達人間の将来と重なって見えます。このまま川を汚し自然を冒涜するなら、いつか私達もメダカと同じように絶滅の危機にひんすのではないでしょうか。

その兆しも具体的に現れてきています。環境を汚した結果、私達の健康は昔は無かったアトピー性皮膚炎や、さまざまな病気におかされています。考えてみれば、私達人間だけが自然のルールを裏切っているのです。人間以外の動物は、自然のルールをやぶることはしません。人間だけがかぎりない欲望をいだき、便利さを求めてルール違反をしているのです。『このままであってはいけない、もう一度原点に戻らなくては』このことが、私が「メダカの学校」を始めた理由です。

そして、この思いの中から生まれたのが、「メダカの学校」の歌です。昔のメダカの学校の歌は、メダカがいっぱいの美しい地球の歌でした。もう一度昔のメダカの学校の歌のように、メダカがいっぱいの美しい地球にもどろうとの思いで、この歌を作りました。私達人間の手でメダカが消えようとしている今、それをなおすのも私達人間なのです。小さなメダカの声ではありますが、この歌のメッセージが必ず世界中にひびきわたり、心が豊かになり、争いもなく、メダカがいっぱいの美しい地球になることを信じて止みません。

メダカの声
静けさにメダカの吐息わが友よ
静かなる声の位置の確かさ

「メダカの歌」のもととなった詩

メダカの学校 メダカのお願い

昔のようにメダカがいっぱいの
地球上にもどそうよ!!

埼玉県越谷市と群馬県館林市内の小学校において、メダカの歌の音楽鑑賞が行われました。

メダカの歌は全国各地の小学校、幼稚園で盛んに流されております。

他の学校でもクリーン作戦に使われたり、四国の大蔵学校では卒業生に贈る歌として歌われました。

作詞 陸メダカ 作曲 平池尚 部枝

メダカの学校 “出合い”

メダカの学校のお願いほかに
メダカの学校“出合い”と
『ポンタの楽園』が入っています!

埼玉県越谷市と群馬県館林市内の小学校において、メダカの歌の音楽鑑賞が行われました。

メダカの歌は全国各地の小学校、幼稚園で盛んに流されております。

他の学校でもクリーン作戦に使われたり、四国の大蔵学校では卒業生に贈る歌として歌われました。

作詞 陸メダカ 作曲 宮川つとむ 部枝

2001年 NPO法人 メダカの学校が内閣府認証

2001年11月15日内閣府より認証書が正式に交付されました。(定款はP2に記載されております。)

メダカの学校が開校してから振り返ってみると、メダカの学校で多くの人達が社会復帰をしていき、とてもうれしいことです。今の世の中、どんどん騒がしくなっていますが、メダカの学校グループは、着々と自分のやるべき道を進んでいます。

NPO メダカの学校の定款はメダカの理念そのものであり、さらなる活動を皆様と共にに行っていきたいと思いますので、今後ともご支援のほどよろしくお願ひいたします。

2002年 “助けて!アトピー”本出版

NPOメダカの学校の活動が本になりました!

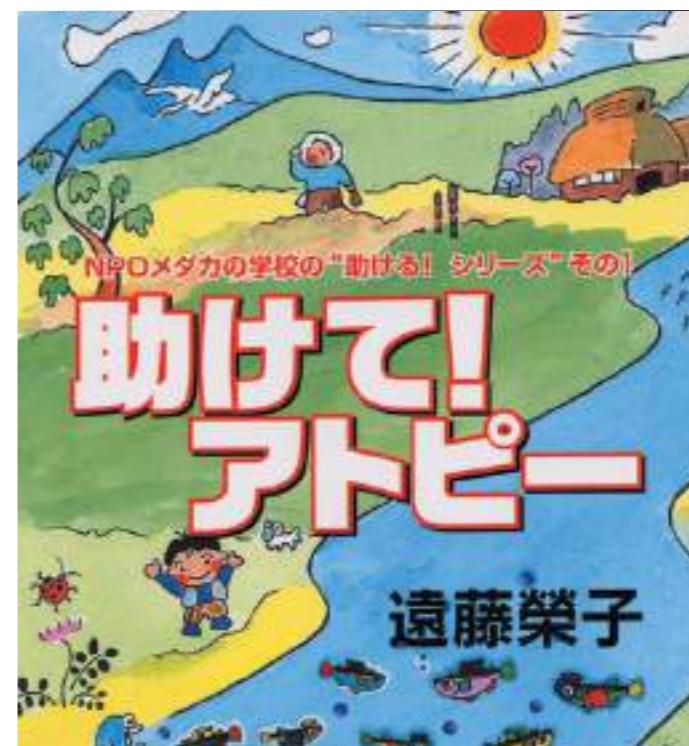
“助ける!シリーズ”その1「助けて!アトピー」好評発売中!

なぜメダカの学校はボランティアなのでしょうか。それは、かつて私が重症のリウマチを克服した経験から、アトピーなどで(病気は全て一緒ですが)苦しんでいる人たちが元気になり、社会復帰していくことが、私も喜びと幸せをもたらすからに他なりません。自分がしたいから、行っているに過ぎないです。(名古屋での活動はボランティアで行ってました)

人間は自分のためだけに生きてはいけない授かった生を自分のためだけではなく、何か用のため、人のために使わなければならないと悟ったのです。メダカの学校は、この精神でボランティア活動を行っています。

この本も、人としての生き方を少しでも学んでいただける方に読んでいただきたく、出版することに致しました。

「本文あとがきより抜粋」



著者:遠藤栄子 出版:文芸社 定価:1,000円(税別)

NPOメダカの学校の開校から現在に至るまでの歩み、そして今後の活動等について書かれた決定版です。

助けて!アトピー を出版して12年目に入ろうとしています。アトピーや、他の病気のことではなく今話題になっている経皮毒(化粧品の害)・デトックス・食の在り方など、どうしたら心も体も健康で生きらねるかが12年前に時代を先取りして書かれていますので、もう一度じっくりお読み下さいませ。

理事長 遠藤栄子

2003年 メダカの学校堂場完成

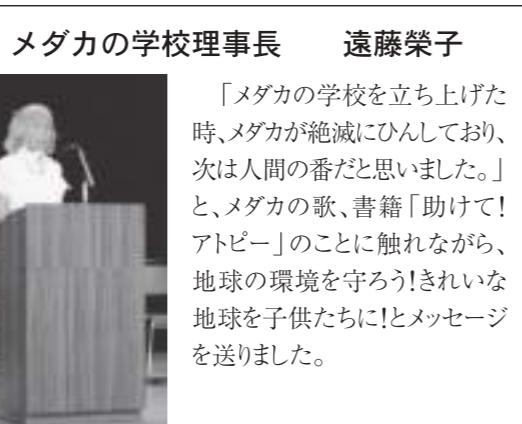
2003年5月17日 メダカの学校堂場完成披露式典

メダカの学校完成披露式典

式典におきましては、式次第に則り福岡町長である吉村卓巳氏、福岡町議会副議長である原松夫氏、そして有限会社菊池薬局 菊池修氏をご来賓としてご臨席賜り、ご祝辞をいただきました。また司会には後半第2部アトラクションも通じて、メダカの歌の作曲者である、宮川つとむ氏に務めていただき、終始厳粛な雰囲気のなかにも、なごやかなムードを織り込みながら、つつがなく式典は進行してきました。ご来賓の方々のメダカの学校に対するお祝い、ご期待、そして時には激励のお言葉に会場一体となり感動いたしました。心温まるご祝辞に、心より感謝申し上げます。



(左/メダカの学校理事席・中央/司会宮川つとむ氏、右/来賓席)



メダカの学校理事長 遠藤榮子

「メダカの学校を立ち上げた時、メダカが絶滅にひんしてたり、次は人間の番だと思いました。」と、メダカの歌、書籍「助けて！アトピー」のことに触れながら、地球の環境を守ろう！きれいな地球を子供たちに！とメッセージを送りました。



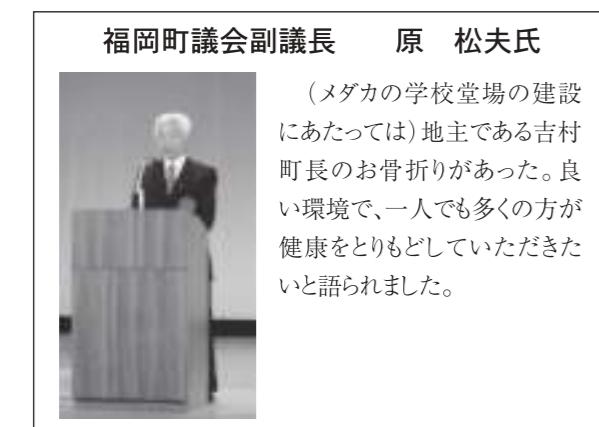
メダカの学校監事 石川善一

「心配されていた天候も、この式典を祝うが如く晴天となりました…」と式典を心より祝う言葉に添えて、書籍「助けて！アトピー」そしてCD「メダカの歌」の発行等、メダカの学校の活動実績、そして今後の抱負等について、会場に集まっていたお客様ひとりひとりにその熱意がひびひと伝わるかのように、熱く語りかけました。



有限会社菊地薬局 菊地 修氏

(私の)地元、群馬県館林市でも、行政を巻き込んでメダカの歌を広める活動を行っている。スマップの、「一人一人の個性を比べないで」という内容の“オンリーワン”という曲がヒットしているが、同様にメダカの歌も深い意味を持っている。メダカの歌の内容こそ、この時代に一光を投げかけたすばらしいものであると語られました。



福岡町議会副議長 原 松夫氏

(メダカの学校堂場の建設にあたっては)地主である吉村町長のお骨折りがあった。良い環境で、一人でも多くの方が健康をとりもどしていただけないと語られました。



福岡町長 吉村卓巳氏

遠藤理事長との出会いから、メダカの学校堂場の建設、そして現在に至るまでの話し、そして健康でかがやける人生を、命より健康を！(病で伏せて生き続けるよりも)健康でいたい、(病気を)予防することが大切である。そして何でもイエスマンではなく、悪いものはノーといえる日本人になりました！と語られました。

アトピー克服体験談に感動の涙！

「絶対に大丈夫、決してあきらめないでください！」と涙ながらに語りかける、メダカの学校の自然療法によりアトピーを克服して社会復帰を果たした体験者。その言葉を自分自身に重ね合わせ涙する、同じ境遇の人達。そのすすり泣きに共感し涙する多くの人達。まさに会場全体が感動の涙につつまれました。でもこれは、決して悲しみで悲観した涙ではありません。むしろ明るい未来に向けての、希望の涙といえます。ともするとふさぎがちなアトピーの方々に、勇気を持って自らの体験談を語ってくれたアトピー克服体験者の方々に心より感謝申上げます。彼らの勇気ある一言に、どれだけ多くの方々が励まされることでしょう。



アトピー座談会風景(左/講師席 右/体験者席)



—免疫とアレルギーの概念について—

講師:メダカの学校副理事長 谷島清郎金沢大学名誉教授(医学博士)

メダカの学校堂場完成披露式典に先駆けて、午前中の第1部として、アトピー座談会が開催されました。講師としてメダカの学校の副理事長でもあり、また金沢大学名誉教授(医学博士)である、谷島清郎先生をお招きして、免疫とアレルギーの関係、酸素と酸化ストレス、そしてアレルギーの体験談と克服の実際に至るまで、幅広い内容の講話にご来場者は感心、聴き入っていました。

メダカの歌を熱唱する！

式典第2部のアトラクションとして、メダカの歌「メダカの学校“出会い”」「メダカの声」のミニコンサート、地元福岡町の和太鼓 鼓道の演奏、歌謡ショーが行われました。莊厳な太鼓の響きに圧倒されました。



式典の紹介記事が新聞に掲載されました。

2007年 アトピーの方の宿泊施設 ログハウス完成

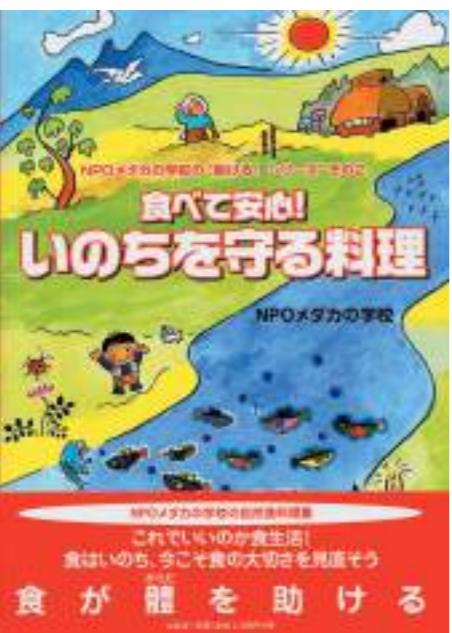


裏庭にログハウスが完成しました。

新建材は一切つかわず、全て木で造りました。この場も木々達・草花に囲まれ、都会では失われた土の香り、木や草花の香り、風の香り、せせらぎや小鳥達の声がいっぱいの空間の中にあります。



2007年 「いのちを守る料理」出版



肉・乳製品・小麦粉・白砂糖・大きな魚を使わない料理集

このレシピ本こそ今のスピード時代にピッタリ簡単で子供も大人も男子も気軽に楽しみながら作れるレシピ本です。

アトピーの人達だけでなく、そもそも他の疾患(病気)の人達が元気になり、病気にならない体を作るには、ぜひこのレシピ本があれば…。ご一読ください。



2009年 CDメダカのお願いリニューアル

2010年 環境絵本「メダカのお願い」CD付 本出版

メダカ環境絵本 メダカのお願い 絵本 CD付



皆さんのお声

自我ばかり育ててはダメだよというメッセージの中に稻は子孫を残すために時期が来れば枯れるのに、人は子供の頃に芽生えた自己・自我が枯れる事はないという文章が書かれていて、ハッとした。環境問題という世界的な問題は、僕らの思うよりも遠くにある訳でなく足元にヒントが沢山落ちているのだという事にハッとしたのです。身体の不調をキッカケとして、一人一人が健康というものから世界との共存、自然との共存が少しでも可能になればこの不調も悪いもの、マイナスでないのかと思えます。

神奈川県平塚市 内田 克則

この絵本を読んでいると、川のメダカ達の苦しみ、悲しみの声が聞こえてきます。それなのに震えながらも、自分達を追いつめている人間達に「人間だって危ないよ」と心を痛めています。汚しているのは人間なのに、そして、メダカ達からやすらぎを奪っているのも人間なのに、地球が昔の様に戻ったら「人間だってやすらぎよ」と、共にも生きる仲間として、受け入れてくれています。全ての命が共に元気に生きられる地球を取り戻すために、メッセージを送り出しているんですね。メダカは目高。川に泳いでいたメダカの目線を陸に上がって目高くなつて、これから地球の為に今しなければいけないことを一つ一つ訴えています。汚してしまったのは人間だけど、人間だってはじめから、汚してやろうと考えた訳ではないと思うのです。幸せになりたいという気持ちから始まったのだと思うのです。どこかで道を間違えてしまったのでしょうか。私は、人間の存在や力を信じたいと思います。汚してしまってごめんなさい。間違ってしまってごめんなさい。今こそ、メダカ達の声に答えるなくてはいけませんね。「地球を元通りにできるのも人間しかいないんだ。」すべての生命とつながって、地球とつながって、宇宙とつながって、神様とつながっていれば、人間も目高なメダカになって、ほほえみながら、地球で泳いでいると思います。「きれいにするよ」だいじょうぶといえ、「絶対にきれいになるよ」だいじょうぶ。今こそ私達一人一人が目覚めて、動き出さなければならない時だという、心のさけびを感じさせてくれる絵本に出会えました。ありがとうございます。そして、私も、つながります。 学びの星ネットワーク主宰 大澤 文子

ESD

“地球を助けて!! メダカのお願い”は 素晴らしい絵本!環境教育の最高のテキストです!

北九州大学にて環境教育の教材となりました。



2011年7月現在、人類にとって最も重要な課題の一つとして“ESD”的重要性が呼ばれています。

“ESD”とは Education for Sustainable Development の略。「持続可能な開発のための教育」のことです。

「一人一人が地球上の世界各地の人々や、将来世代や環境との関係性の中で生きている、存在していることを十分自覚認識して、一人一人の行動を変革するための教育」のことです。

わたしは、本年4月から、北九州市立大学大学院修士課程の大学院生として、まさに環境教育の重要性に関する講義を受講しています。先生である三宅博之教授は、北九州ESD協議会の指導的立場にある方です。

わたしは、著者である睦メダカ様のご好意により、三宅先生はじめ受講生の皆さん一人一人に一冊ずつこの絵本を贈呈させて頂きました。三宅先生は、内容を知り、大変感謝され、受講生全員にしっかりと読むように指示。次回の講義の時には、受講生全員が英語でスピーチし読後感想を述べ合って討論会となりました。全員、趣旨と共に鳴り、内容の深さに感動していました。

さて、現在日本はもちろん世界各国において、『ユネスコスクール』が存在しています。『ユネスコスクール』とは、ユネスコが認定したESDなど人類共通の教育テーマに取り組んでいる学校のことです。

わたしは、将来、著者である睦メダカ様やその仲間の皆様と共にユネスコ本部や国連事務局を訪問して、この絵本が人類にとっての優れたESDテキストとして採用してもらえるように交渉に行くつもりです。その為には、この絵本が諸々の宗教の違いを超えて大変多くの人々に受け容れられ、その魂をゆさぶるように、もう少しわかりやすく言語表現を工夫する必要がある数ヶ所あるように感じています。何故なら、この本は絵本とは言え、その内容たるや大変意義深く、深遠なる心の在り様をも取り扱っている故に、微妙な箇所の適切な表現が求められているからです。

わたしは、ハワイ在住のネイティブアメリカンや日本人など、ハワイ島に多くの友人がいます。今日現在、彼らは、チームで一語一語厳密適切な英語に翻訳すべくその作業に集中してくれています。翻訳作業に当たって、数々の意見や助言、意訳した方が良い箇所や表現の工夫変更等、率直な意見書と共に翻訳原稿は8月前半には出来上がることでしょう。大変意義深い内容であることからチーム全員が趣旨に感動して、とても張り切って努力してくださっています。心からお礼申し上げると共に出来上がりが大変楽しみです。

2010年10月 メダカのお願いコンサート 名古屋

メッセージコンサート



メダカを代表して心よりお礼申し上げます。
10月9日、一年で一番行事が多くお祭り、運動会、F1、稻刈りなど三連休の
そんな中、多くの方々にお越し下さいて本当にありがとうございました。
これも一重に皆様方の暖かいご支援を持ちましてすばらしいコンサートが開催
できました。重ねて御礼申し上げます。

NPOメダカの学校理事長 遠藤栄子



よかったです、楽しかったわ、会場は600人で満員御礼。



ピアノ：稻垣 達也 オカリナ：堀田 峰明 和楽器：木村 俊介



子供にお願い…と、言われるとたまらんよね!
おかげで沢山の募金が集まりました。ありがとうございます。



歌から支援していただいた人と共に今日の出会いに有難う!「出会いの歌」を大合唱
作曲：宮川 つとむ 作詞：遠藤 栄子

11

2012年7月 メダカのお願いコンサート 横浜

メダカのお願いコンサート「ありがとう地球」



メダカやホタルのように消えてゆく小さな命達。
「人間だって危ないよ!」

絵本「メダカのお願い」をもとに各地で
コンサートが、開かれています。

～2012年7月14日(土) 横浜 フィリアホール～

7月14日の横浜青葉台のフィリアホールでのメダカのお願いコンサート「ありがとう地球」は、500席の会場がほぼ満席状態で、盛況の内に終わることができました。

普段地球に感謝することなど思いもよらないことを、このコンサートに関わり、参加することによって気付かせもらったことに、大きな恵みを頂いたと実行委員全員の思います。

参加してくださった人たちも、生命の源である水や、生きていく上で大事な土、空気や森など、改めて気付かされたひと時だったと感想をよせてくださっています。小さなメダカのお願いが、参加された人々の

心の中に入って、この地球を守っていこうという気付きになれば幸いです。

また、いまだ原発で苦しんでいらっしゃるふくしま・相馬の人々に温かい支援を有難うございました。

ロビーでの皆様の寄付金は10万円近く集まりました。

すべて、東日本大震災・原発被災支援“まごころエイド311”を通じて寄付させて頂きました。

コンサートに参加してくださった方々、ボランティアの方々、本当に有難うございました。

主催 実行委員 渡辺圭子(横浜支部)

2012年8月18日 メダカのお願いコンサート 神戸

2013年3月20日 メダカのお願いコンサート 高松

12

メダカの学校20周年 堂場設立10周年記念日

平成25年5月18日(土)



「記念日おめでとうございます」



大山奈緒さん・伊藤ファミリーの歌、ピアニスト河野康弘さんの演奏で会場は音に包まれ、楽しいひと時となりました。

この日は、10周年記念イベント。久しぶりにお会いできた方たちとの再会が本当に嬉しかったです。尊敬する学校の理事長さんは「人間の欲望がどんどん強くなり、地球を汚染し続けていくことがすべての病の原因もある」と教えてくれました。それを子ども達にも理解できるように絵本にしたら、あまりの反響にAmazonで1位になってしまったんだとか…

当たり前のことを見たり思わず全てに感謝して大切なことから目をそむけないようにしなくては…この日は特に強く心を動かされる日となりました。また素晴らしいJAZZピアニスト河野康弘さんとの出逢いも私にとって衝撃でした。みんな自然を大切にする優しさと思いやりの心で、それぞれ自分が出来ることをしていければいい。「メダカのお願い」が更に多くの人たちの心に届きますように願っています。



メダカの学校 理事長
遠藤栄子

皆様方に支えられて、おかげさまでメダカの学校20周年、堂場設立10周年を迎えることができました。ありがとうございます。

感謝でいっぱいです。
ふりかえってみると、たくさんの奇跡的なことが起こっています。吉村先生のお話の中にも、現代医学では理解できない不思議なことが起こっているとありましたが、これからが楽しみで日々ワクワク。感謝、感謝です。メダカの学校では何かが起こっています。



日本統合医療学園
学長 吉村吉博

メダカの学校の堂場開設10周年、誠におめでとうございます。私は9年前メダカの学校の遠藤理事長と偶然?ではなく必然にお会いしました。そしてこの度、10周年記念に特別講演「予防は最大の治療なり」をさせていただきました。実は、当堂場の土地は、吉村家の土地で私が生まれた。30年以上にわたり研究(活性酸素と水)と教育(漢方)を行つきました。今回の講演は、そのお礼と感謝の意をもつて里帰りさせていただきました。

今回、卒業生の体験談をお聞きしていると、現代医学では理解できない不思議なことがたくさんあり、びっくりしました。アトピー性皮膚炎ばかりではなく、がん、精神疾患などなど多くの疾患の方が薬などを用いないでこの土地で過ごすことによって緩解や完治されたことは、まさに転地療養のたまものです。これは、現代医学はある面では漢方医学や心身医学のレベルを超えない証です。自然豊かな土地と空気と水で育てた旬のものをいただいて、体を元気にさせることは、まさに「身土不二」の考え方です。人は自然の一部であり、自然に調和すると必ず病は緩解するということを証明しております。

また、今回多くの方々と交流できたことは私の最大の喜びでもあります。とかく、職業などのプライドが邪魔することが多い今日ですが、老若男女が同じ人間として、同じ目線で交流できるところに価値があります。

今後も、メダカの学校のような自然と調和してエネルギー(氣)を貢献して育む学校がもっと世に知られ、繁栄されることをお祈りします。

「現代医学では理解できない不思議なことがたくさんありびっくりしました」



北九州市戸畠区 飛幡八幡宮 神主 仰木 塚壱



中津川市市議会議員 元福岡町長 吉村卓己



メダカの学校 監事 オリンピックメダリストスカイリーメダリスト
洋画家 石川善一



メダカの学校 副理事長 医学博士 谷島清郎

